

SONY

ワイヤレスノイズキャンセリング
ステレオヘッドセット

使用上のご注意／主な仕様

Made for
iPhone | iPod

N Bluetooth DIGITAL NC

WI-SP600N

©2018 Sony Corporation
Printed in Malaysia
4-730-312-03(1)



* 4 7 3 0 3 1 2 0 3 * (1)

お買い上げいただき、ありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この使用上のご注意／主な仕様には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**使用上のご注意／主な仕様および取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

マニュアルについて

取扱説明書には以下の3種類があります。

取扱説明書(別紙)

接続方法や基本的な使いかたを説明しています。

使用上のご注意／主な仕様(本書)

使用上のご注意や主な仕様を記載しています。

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

本機の使いかたを詳しくお知りになりたい場合は、ヘルプガイドをご覧ください。また、困ったときの対処方法もわかりやすく記載しています。
パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

ヘルプガイド URL:

http://rd1.sony.net/help/mdr/
wisp600n/ja/

ヘルプガイド二次元コード：



警告

安全のため

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・おいがしたら、煙が出たら

- ① 電源を切る
- ② ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火により死亡**や**大けが**の原因となります。



火災

感電

付属以外のマイクロUSBケーブルを使わない

充電するときは、必ず付属のマイクロUSBケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

火の中に入れない

火の中に入れない

分解しない

故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない



下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火によりやけど**や**大けが**の原因となります。



火災

感電

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 自動車やバイク、自転車などの運転中に、本機および携帯電話は絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- 運転中に携帯電話の画面を注視しないでください。

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない

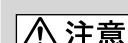
歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。また、本機は周囲の音を低減するノイズキャンセリング機能がありますので、警告音なども聞こえにくくなります。踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。本機につないでいるBluetooth機器によっては、通話時にハウリング現象がおきることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。

通電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

かゆみなど違和感があつたら使わない

本機が肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない

変形や故障の原因となることがあります。

イヤークーピーはしっかり取り付ける

イヤークーピーがはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。イヤークーピーはしっかり取り付けてください。

本機を航空機内で使用の場合は、客室乗務員の指示に従う

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



警告 充電式電池について

- 付属のマイクロUSBケーブル以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 一般ごみ(不燃ごみ)と一緒に廃棄しない、火災や破裂の原因となることがあります。
- 電池が漏液したり、異臭がする時には直ちに火気より遠ざけてください。

本機を廃棄する



Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。(「ソニーの相談窓口」の連絡先は裏面に記載されています。)

BLUETOOTH® 機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。● 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10 m以下です。XX4はその他の変調方式を採用し、与干渉距離は約40 m以下です。

2.4FH1/XX4

007-AF0207
D170088007

CEマークは主にEEA (European Economic Area) 各国など、法律に定められた国においてのみ有効です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Apple、Apple logo、iPhone、iPod、iPod touch、macOS、MacおよびSiriは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- Android、Google Play、Google PlayロゴおよびGoogleはGoogle LLC.の商標です。
- 「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FeliCa®はソニー株式会社の登録商標です。
- ウォークマン®、WALKMAN®、WALKMAN®ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

